



国土交通省道路局長 殿

19 栄産第43号

平成 19 年 5 月 18 日

長野県栄村長 高橋彦芳



中期的な計画の作成にあたって(回答)

新緑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、道路特定財源の見直しについての中期計画の作成にあたり、日頃感じていることを申し述べさせていただきます。

記

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

都市部では、道路整備も進み生活路線確保はできていると思われる。しかし、地方では、市町村を結ぶ幹線道路や村内の集落と集落を結ぶ幹線道路の整備が遅れている。また、この幹線道路 1 本しかなく事故や災害時に緊急車両が通れないことが多々ある。地方道整備は緊急に整備する必要がある。

○効率化を徹底的に進める上で重視すべきことについて

道路の建設や管理にかかるコストの削減

○その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

地方道整備で投資効果を求め整備順位などを定めている。県等の方針もあるだろうが、緊急に整備しなければならない道は、別枠で計画してほしい。たとえば、国道 405 号が冬期間雪崩で通行止めとなった。迂回路として県道秋山郷森宮野原(停)線があるが、なかなか整備が進まないのが実体である。

以上